

## 南関東ブロック会議（10月24日（金） 埼玉県・浦和ロイヤルパインズホテル）

参加者は約200名。野本重雄（一社）埼玉県協会事務局参事の司会により、浅沼良臣埼玉県会長が開会ならびに開催県を代表して歓迎の言葉を述べた。岡本比呂志全専各連南関東ブロック長の挨拶の後、来賓として、赤池誠章文部科学大臣政務官、上田清司埼玉県知事が祝辞を述べた。最後に小林光俊全専各連会長から挨拶が述べた後、来賓・行政関係者・全専各連・各協会会長等の紹介が行われ、本会議に入った。

はじめに「文部科学省報告Ⅰ（最近の動向等）」と題して白鳥綱重専修学校教育振興室長が講演を行った。平成27年度専修学校関連概算要求と平成26年度同予算と対比しながら、「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進（拡充）」「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」の具体的な事業執行状況、「専門学校生の授業料等負担軽減事業（新規）」について説明を行った。全専各連事務局からは、全専各連全体の活動状況、職業実践専門課程の今後の展望、全専各連ならびにTCE財団事業への協力要請が行われた。その後、各都県から行政報告が行われ、全大会を終了した。

休憩後、研修会（「職業実践専門課程」制度周知のための説明会）が開催され、はじめに「文部科学省報告Ⅱ（職業実践専門課程について）」と題して、白鳥室長が職業実践専門課程認定制度の現況、「職業実践専門課程」の運営における改善・充実に向けた留意点、今後の方向性について説明を行った。特に認定取り消しの事例について強い懸念を表するとともに注意喚起を行い、最新の学校情報の公開、積極的な情報提供等を行うよう呼びかけた。続いて、事例発表「職業実践専門課程の認定を受けて」と題して、はじめにアルスコンピュータ専門学校山崎彰理事長が、続いて湘南平塚看護専門学校中野裕子校長がそれぞれ自校における職業実践専門課程の認定に向けた取り組み事例を紹介した。

最後に、山中祥弘東京都会長からの次期開催県あいさつに続き、小池千代子埼玉県副会長が閉会の言葉を述べて会議を閉会した。

その後、交流会となり、すべての日程を終了した。